

- 主 催: **京都学生祭典実行委員会**  
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル キャンパスプラザ京都内  
TEL:075-353-9432 E-mail:festa@consortium.or.jp  
URL:http://www.kyoto-gakuseisaiten.com
- 共 催: **京都学生祭典組織委員会**  
(京都府 / 京都市 / 京都商工会議所 / 一般社団法人京都経済同友会 /  
公益財団法人 大学コンソーシアム京都)
- 特別協力: 平安神宮
- 協 力: 文化庁 地域文化創生本部
- 後 援: 京都府教育委員会 / 京都市教育委員会 / 公益社団法人 京都青年会議所 /  
公益社団法人京都市観光協会 / 公益社団法人京都市保育園連盟 /  
公益社団法人 京都市私立幼稚園協会 / 公益財団法人京都和装産業振興財団 /  
京都商店連盟 / 京都新聞 / 朝日新聞京都総局 / 産経新聞社京都総局 /  
日本経済新聞社京都支社 / 毎日新聞京都支局 / 読売新聞京都総局 / 京阪電気鉄道株式会社 /  
京福電気鉄道株式会社 / J:COM 京都みやびじょん / NHK 京都放送局 /  
讀賣テレビ放送株式会社 / KBS 京都 / エフエム京都

スペシャルパートナー

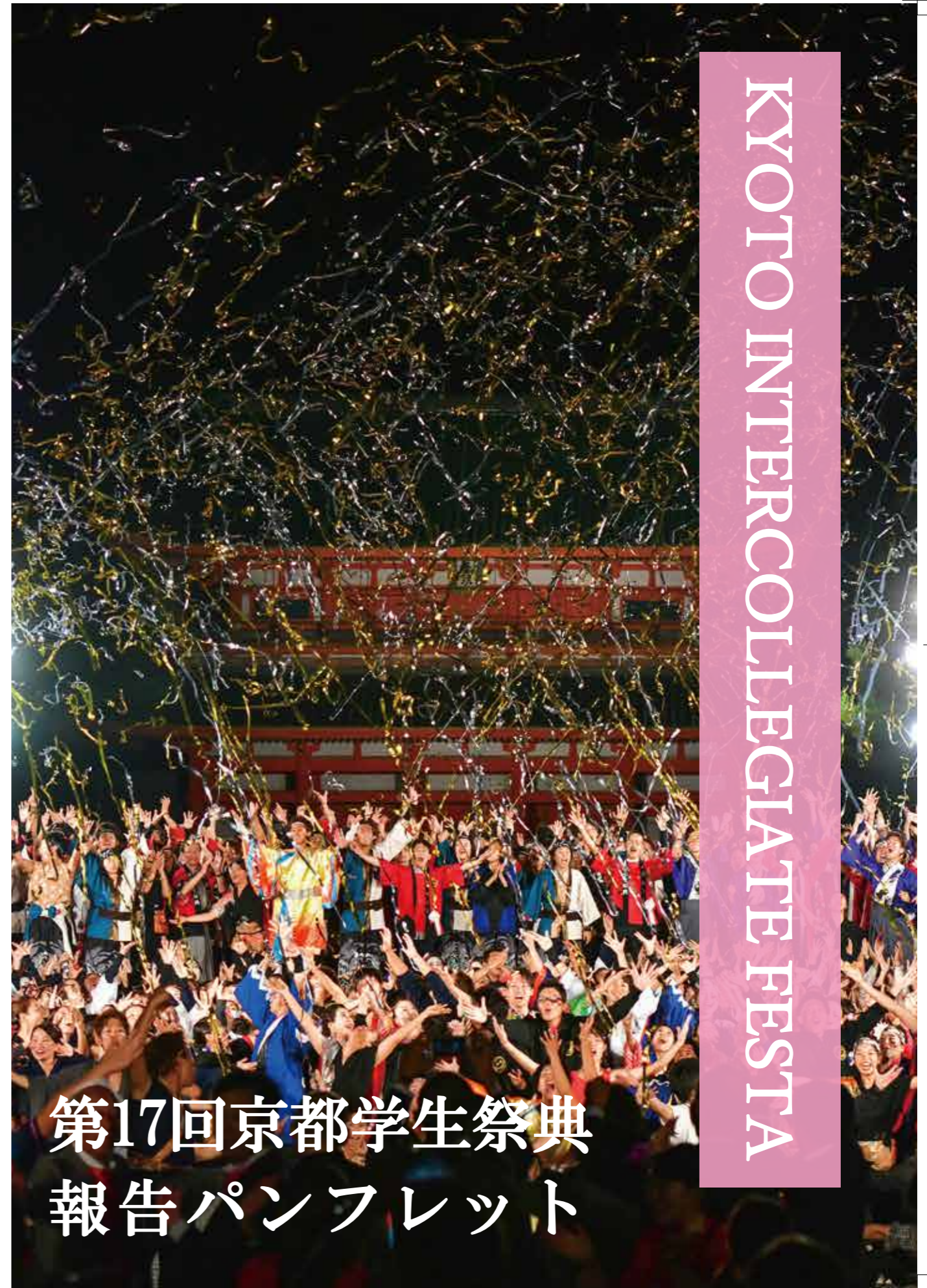


KYO-SENSE パートナー

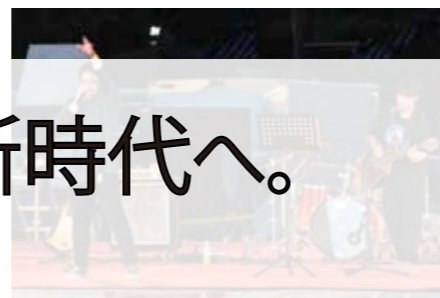
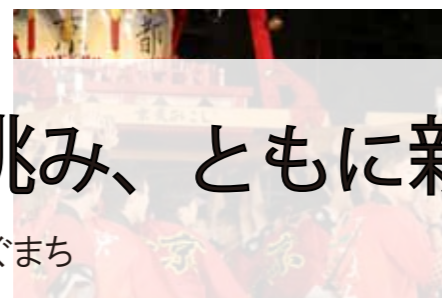


# 第17回京都学生祭典 報告パンフレット

KYOTO INTERCOLLEGIATE FESTA







# 京都から挑み、ともに新時代へ。

京都は様々な縁を繋ぐまち  
だからこそ、たくさんのご縁を大切に、学生はもちろん多くの方々を巻き込み  
皆様とともに京都にしかない新しい価値を見出すことに挑みました。  
京都の未来につながるきっかけをつくり  
京都四大祭りを見据えた希望ある「新時代」を目指します。



Index



15 第17回京都学生祭典本祭

17 Opening

19 学生の熱さをシェアする

21 京都を繋ぐ存在となる

23 多様な人々を魅了する

25 Grand Finale

Index



27 京都学生祭典アンケート

03 ご挨拶

28 メディア掲載/制作物

05 第17回京都学生祭典に  
込めた思い

29 実行委員インタビュー

07 年間活動

30 実行委員名簿・所属大学

09 学生の熱さをシェアする

31 協賛企業一覧  
大学コンソーシアム京都加盟校一覧

11 京都を繋ぐ存在となる

32 個人サポーター一覧  
京都市ふるさと納税寄付者一覧

13 多様な人々を魅了する

33 最後に



## ご挨拶



第17回京都学生祭典 組織委員会

### 委員長 仲谷 善雄

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 理事長

令和初の開催となった第17回京都学生祭典は「京都から挑み、ともに新時代へ。」をコンセプトに掲げ、1年間をかけて作り上げてきました。台風の影響により開催規模が縮小したものの、11万2千人もの皆様にご来場をいただき、大盛況のうちに終えることができました。当日に溢れんばかりの笑顔と感動を創出された実行委員をはじめとする学生の皆さんに敬意を表するとともに、ご来場いただきました皆様および関係各位に厚く御礼申し上げます。京都学生祭典は「大学のまち・学生のまち京都」のさらなる発展に貢献し、京都に集う学生一人ひとりの成長に繋がる場となるよう、さらなる飛躍をめざしてまいります。今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第17回京都学生祭典 企画検討委員会

### 委員長 木村 光博



秋晴れの中、第17回京都学生祭典が盛大に開催されました。前夜に台風が襲来し、当日早朝より全員で会場設営をするという事態となりましたが、この経験は学生達が大きに育つ素晴らしい好機ともなりました。京都経済同友会や大学コンソーシアム京都、地域や行政の皆様におかれましては、学生に寄り添いながらともに祭りをつくり上げる為に御尽力賜りましたこと厚く感謝申し上げます。令和の時代も京都に根差し愛される京都学生祭典であり続ける為に皆様方の更なるご支援をお願いし御礼の言葉とさせていただきます。誠にありがとうございました。

### 実行委員長 山田 聡司

京都産業大学 3回生



台風の影響はあったものの、無事に第17回京都学生祭典が開催されました。私たちは来場者の皆様に感動を届け、京都を盛り上げるべく一年間を過ごしてきました。そこには多くの困難がありましたが、産・学・公・地域の皆様とともに祭りを作りあげたという経験は、大学生活で最大の学びとなりました。第17回がきっかけとなり、この先10年、100年と続いていく祭典となることを祈っております。この祭りに携わってくださったすべての方に心より御礼申し上げます。今後とも温かいご支援のほど、何卒よろしくお願いたします。

### 副実行委員長 山田 怜奈

立命館大学 3回生



この度は台風の影響も心配された中、皆様のお力添えのもと、無事本祭典を開催することができました。第17回は「京都学生祭典の日は京都に帰ろうと言われるような祭りに」という言葉から始まり、最後まで突き進んで参りました。最後まで笑顔で頑張り抜いた実行委員とともに歩んだ第17回は、多大なるご支援、ご協力に包まれ、とても温かく、かけがえのないものだったと感じております。第17回京都学生祭典に関わり、時に厳しく接していただき、時に優しく見守ってくださり、ともに祭りを作り上げてくださった皆様に、改めて心から御礼申し上げます。

### 副実行委員長 飯田 昇平

京都大学 3回生



京都学生祭典は21世紀に学生のまち・京都から新たなムーブメントを興すという想いから誕生しました。令和元年という節目を迎えた今年度は「京都から挑み、ともに新時代へ。」というコンセプトを掲げて活動し、京都中の皆様と一緒に作り上げて、新しい時代のきっかけを感じられる祭りを開催することができたと思います。今年度も京都学生祭典を愛し、支えていただいた皆様に心より感謝申し上げます。令和の時代も京都が「学生のまち」として輝き続けるために、今後とも京都学生祭典をよろしくお願いたします。



### 企画運営部長 岩本 望良

龍谷大学 3回生

今年の企画運営部では、誰もが楽しめる本祭を作りあげること为目标に企画立案から当日運営まで約1年間活動して参りました。開催当日、台風の影響により前日の準備ができず縮小開催となりましたが、学生たちの熱気であふれ、来場者の方にもその熱気は届いたのではないかと思います。誰もが楽しめるような様々な企画に取り組み、学生だけではなく、すべての来場者楽しんでもらえる本祭になったと思います。ともに本祭を作り上げてくださった皆様、ありがとうございました。



### 警備部長 岩本 綾佳

京都女子大学 3回生

警備部は、来場者、出演者、関係者全ての方々に安心して本祭を楽しんでいただけるよう1年間を通して活動して参りました。今年度は新たな取り組みとして警備研修を実施し、例年以上に本祭の安全について深く向き合い考えた1年でした。たくさんの方々のご協力もあって、今年度も大きな事故無く本祭を終えることができました。京都学生祭典を支えてくださった皆様、そして来場者の皆様に心より感謝申し上げます。



### おどり普及部長 杉原 美帆

京都薬科大学 3回生

京炎 そでふれ！は第3回の京都学生祭典で生まれ、今年で15年目を迎えました。その中でおどり普及部は、京炎 そでふれ！の力でさらに京都学生祭典を盛り上げようと活動して参りました。年間を通したおどりの出前教室や披露では多くの方々に京炎 そでふれ！を知っていただき、そでふれコンテストの優勝旗作成やGrand Fineleの演出強化では京炎 そでふれ！の魅力を高めることができました。京炎 そでふれ！そして京都学生祭典に関わってくださった全ての方々に、心より感謝申し上げます。



### 年間交流部長 岩井 茜

京都女子大学 3回生

年間交流部は、1年間様々な企画を通して京都中の方々や留学生との交流を深め、皆様に長く愛される京都学生祭典を目指して活動してまいりました。今年度は、地域の方々との交流に加えて京都学生祭典の国際化にも努め、多言語パンフレットの作成により、本祭では他国籍の来場者の方にお楽しみいただくことができました。これも日々の活動の中で、京都学生祭典をご支援くださった皆様のお力添えあってのことだと思います。最後に、京都学生祭典を応援し、支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。



### 営業部長 竹内 優太

京都産業大学 3回生

営業部は、企業様やご支援くださっている方々と、京都学生祭典を繋ぐ架け橋として1年間活動してまいりました。皆様からの温かいお言葉に何度も力をもらい、励まされ、ここまでやってこられたと感じております。また本祭当日は台風の影響により開催規模が縮小しましたが、多くの方にご来場いただくことができ、大変嬉しく思います。改めて、「ともに」この1年間京都学生祭典を作りあげていただきました関係者の皆様、ご来場者の皆様に厚く御礼申し上げます。



### 広報部長 田中 聡一郎

京都産業大学 3回生

広報部は、この1年間京都学生祭典を多くの方に知っていただくとともに学生の魅力を伝えられるよう活動して参りました。今年度は新規来場者の増加や学生層の認知度向上を目標にしました。その結果活動していく中で多くのご支援、ご協力により、11万2千名もの来場者を迎え、本祭を終えることができました。京都学生祭典を支えてくださった皆様、また来場者の皆様に厚く御礼申し上げます。



### 総務部長 岩崎 沙南

京都女子大学 3回生

総務部は実行委員を支える唯一の部署として1年間実行委員をサポートしてきました。支えることの難しさ、そして人を集めることの難しさを強く痛感しました。しかし同時に、京都学生祭典に関わっていただいた地域の皆様、大学関係者の皆様、そして各種専門委員会において様々なアドバイスをくださった委員会構成員の皆様の心強さ、温かさを実感することができました。最後に京都学生祭典を支え、応援してくださったすべての方に、心より感謝申し上げます。



# 京都から挑み、ともに新時代へ。

今年度は「京都から挑み、ともに新時代へ。」をコンセプトに掲げて活動しました。学生が京都を盛り上げようとする熱い思いが、京都中の皆様を巻き込み、ともに次のステップ進む「兆し」を目指していきました。多様性に着目した企画の実施や、環境問題に配慮するなど、令和という時代にふさわしい祭りを作ることに取り組んできました。この一年間の数々の挑戦は、私たちが夢見る「京都四大祭り」に一步近づいたと実感しています。



**学生のまち・京都を象徴する京都の四大祭りへ**  
**「京都四大祭りは私たちが追い求め続ける理想です。」**  
 私たち、京都学生祭典は「京都四大祭り」への挑戦を掲げ続けています。京都には三大祭りと呼ばれて京都の文化を象徴する「葵祭」、「祇園祭」、「時代祭」があります。私たちはこれらの祭りのように、京都中の皆様に愛され、百年先の京都でも続くような存在を目指します。京都学生祭典が魅せる京都らしさは「学生のまち」としての文化です。私たちはこれからも学生のパワーが溢れる「学生のまち京都」ならでの祭りを作り続けます。



# 第17回京都学生祭典に込めた思い



第17回京都学生祭典メインビジュアル  
 (作成者: 京都精華大学2回生 小島 瑠衣 さん)



目指すのは「京都から愛されるお祭り」  
**年間活動**  
 私たちの活動は地域社会（企業・行政・大学・地域）のご理解とご協力があって初めて成り立ちます。そのような信頼関係は、1日だけで築くことはできません。だからこそ、地域社会との日々の交流を大切にしたい。その積み重ねの先に、京都の地で末永く続く祭りとして定着する道があると考えています。

<p>2018年12月</p> <p>5日 梅逕夜警</p> <p>20日 岡崎夜警</p> <p>2019年1月</p> <p>12日 安寧地域餅つき大会</p> <p>20日 安寧地域朝清掃 岡崎夜警</p> <p>27日 岡崎地域清掃</p> <p>2019年2月</p> <p>3日 三条高倉餅つき大会</p> <p>5日 梅逕夜警</p> <p>20日 岡崎夜警</p> <p>2019年3月</p> <p>5日 梅逕夜警</p> <p>20日 岡崎夜警</p> <p>2019年4月</p> <p>5日 梅逕夜警</p> <p>20日 岡崎夜警</p> <p>2019年5月</p> <p>5日 梅逕夜警</p> <p>11日 国際交流イベント</p> <p>19日 安寧地域清掃</p> <p>2019年6月</p> <p>5日 梅逕夜警</p> <p>20日 岡崎夜警</p> <p>22-23日 プレイベント 「#ファインダー越しの私の宮津」</p>	<p>2019年7月</p> <p>5日 梅逕夜警</p> <p>6日 プレイベント「タナバタフェス」</p> <p>20日 岡崎夜警</p> <p>22-23日 エコ屋台村</p> <p>27日 岡崎納涼祭</p> <p>28日 安寧夏祭り</p> <p>2019年8月</p> <p>3日 エコサマーフェスタ</p> <p>4日 鴨川納涼祭</p> <p>5日 大映通り商店街夏祭り 梅逕夜警</p> <p>11-12日 京の七夕</p> <p>18日 生祥夏祭り</p> <p>20日 岡崎夜警</p> <p>2019年9月</p> <p>3日 岡崎清掃 本祭成功祈願</p> <p>5日 梅逕夜警</p> <p>8日 プレイベント 「みんなわくわく！ファミリーフェスタ」</p> <p>10日 二条城前打ち水</p> <p>14日 紫竹夏祭り</p> <p>20日 岡崎夜警</p> <p>2019年10月</p> <p>13日 京都学生祭典本祭</p> <p>20日 岡崎夜警</p> <p>2019年11月</p> <p>5日 梅逕夜警</p> <p>16-17日 岡崎ときあかり</p> <p>20日 岡崎夜警</p> <p>28日 成果報告会・感謝祭</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 学生の熱さをシェアする



P.09-10

### 学生の熱さをシェアする

- ・京炎みこし
- ・京炎 そでふれ！

## 京都を繋ぐ存在となる



P.11-12

### 京都を繋ぐ存在となる

- ・打ち水
- ・プレイベント  
「#ファインダー越しの私の宮津」
- ・夜間パトロール

## 多様な人々を魅了する



P.13-14

### 多様な人々を魅了する

- ・プレイベント  
「みんなわくわく！ファミリーフェスタ」
- ・プレイベント  
「タナバタフェス」
- ・国際交流イベント



# 学生の熱さをシェアする

## 京炎みこし



### 京炎みこしとは…

京炎みこしとは、第5回京都学生祭典で作られた創作みこしです。京都の人々の安寧への願いと想いが込められており、その担ぎ手は主に京都の大学の学生から構成されています。今年度は8月5日に大映通り商店街にて京炎みこしの巡行、9月14日に紫竹夏祭りにて京炎みこしの披露の計2回地域での巡行、披露を実施しました。どちらの機会も地域の方々と密接に関わることができました。また、第17回京都学生祭典本祭では、OpeningとGrand Finaleに出演しました。

### 大映通り商店街

8月5日に太秦にある大映通り商店街の夏祭りにて、京炎みこしの巡行を実施し、多くの方々にご覧いただきました。



### 紫竹夏祭り

9月14日に北区にある紫竹小学校にて、京炎みこしの技の披露を実施しました。ここでは、地域の方々とみこしを担ぎました。



### 京の七夕

8月11日、12日に京の七夕にて子どもが楽しめる企画を中心にブースの運営しました。



## 京炎 そでふれ！

### 京炎 そでふれ！とは…

京炎 そでふれ！とは第3回京都学生祭典で誕生した創作おどりです。京都らしい曲・振り・衣装をもとに、四竹を手に持って踊るおどりで、京都市内の大学生を中心に子どもから大人まで誰もが好きなジャンルで踊ることができます。なかでも京炎 そでふれ！に属する大学生は京都中に1,000名を超え、主に大学ごとに“京炎 そでふれ！ホストチーム”と呼ばれる12団体のチームに分かれて活動しています。京都を盛り上げ、新しい学生文化を全国そして世界へ発信していこうと日々頑張っています。



### 出前教室

おどり手が実際に小・中学校をはじめとする教育機関等に出向き、学生祭典オリジナルの創作おどり「京炎 そでふれ！」の振り付けを指導しています。今年度は23の小中学校に伺い大学生と一緒に京炎 そでふれ！スペシャルバージョンや簡単バージョンを教え、各々の行事で京炎 そでふれ！を発表していただきました。



### 祭り参加

全国各地で開催されるよさこいのお祭りに参加し、京炎 そでふれ！スペシャルバージョンの披露、そして、京都学生祭典の普及活動を実施してきました。北海道のYOSAKOIソーラン祭りや愛知のにつぼんど真ん中祭り、大阪のこいや祭りなど様々な場に足を運びました。観客を巻き込む形の演舞も実施し、多くの方々とおどり空間の共有ができました。



### おどり披露

毎年、京都を主とした地域のイベントや児童館、福祉施設など、様々な場所で京炎 そでふれ！のおどりを披露しています。今年度も昨年度に引き続き、伏見稻荷大社などの京都の名所で披露しました。



# 京都を繋ぐ存在となる



## 打ち水

私たちにとって身近なヒートアイランド現象に着目し、学生でもできるヒートアイランド現象の対策、そしてKYO-SENSE活動の一環として当企画を実施しました。近隣住民や観光客、参拝客の方々を巻き込み、多くの方々にご参加いただきました。

## KYO-SENSE活動とは？

KYO-SENSE活動とは、京都学生祭典における環境問題対策活動のことです。環境にかかる負担を少しでも減らすために学生ができることは何かという想いから、2008年に発足して以降、12回目となる今も継続し活動や発信をしています。



## 年間活動



### イベント 「#ファインダー越しの私の宮津」

京都学生祭典の実行委員である私たちと同じ「学生」に焦点を当て、京都学生祭典により親しみを持ってもらえるよう学生参加型のイベントを宮津市で実施しました。大自然の中でのプログラムを通じて、現地の方々との交流や宮津市の魅力発信を実施し、参加者にとっても貴重な2日間となりました。



### 春を呼ぶ 三条高倉もちつき大会

2月3日に三条通で開催された「春を呼ぶ 三条高倉もちつき大会」に実行委員が参加し、運営のお手伝いをしました。たくさんの方々につきたてのお餅を味わっていただくとともに、地域の方々と観光客の方々と交流し、ともに楽しい時間を過ごすことができました。



### 夜間パトロール

地域の皆様と一緒に地域の安全を守るため、過去から継続している夜間にパトロールを実施しました。毎月5日には、実行委員が普段の活動場所としてお世話になっている梅逕地域、毎月20日には、本祭の開催会場としてお世話になっている岡崎地域の夜間パトロールに参加しました。地域の皆様と会話を楽しみ、交流を深める貴重な機会となりました。



### 紫竹夏祭り

京都市北区の紫竹地域で開催された夏祭りに参加しました。子ども向けの手作りうちわブースの運営、水かけ祭りのお手伝い、京炎みこしの披露などをさせていただきました。お祭りの最後には、地域の皆様と盆踊りをしました。小さなお子様からお年寄りまで、多くの方々と交流することができました。



# 多様な人々を魅了する



## イベント 「みんなわくわく！ファミリーフェスタ」



9月8日(日)に、イオンモールKYOTOとイオンモール京都五条の2会場において、「みんなわくわく！ファミリーフェスタ」を開催しました。本イベントは京都学生祭典本祭へ家族連れの方々にもご来場いただくことを目的としたイベントとなっており、本祭同様にステージ企画とブース企画を実施しました。同日に2会場イベントを実施することにより、より多くの方々にご来場いただき、地域の方々、学生、観光客など様々な来場者で賑わい無事に幕を閉じることが出来ました。本イベントは、本祭を1カ月後に控えた中で実行委員にとって貴重な経験と学びのある機会となり、本祭の成功につなげることができました。

## 学生と地域の魅力を発信する イベント「タナバタフェス」



学生による音楽ライブや商店街についてのクイズラリーなど、学生や商店街の魅力を発信するイベントを古川町商店街にて実施しました。今回は、商店街ライブ実行委員会と協力し、様々な企画を実施しました。より商店街の魅力を盛り込んだ企画を実施できるよう、古川町商店街の方々とも協議を重ねました。地域に根付いた商店街で開催することにより、主たる来場者の大学生に地域の魅力を普及できる機会となりました。

## 京都学生祭典の国際化を目指して 国際交流イベント



京都学生祭典本祭に向けて、留学生スタッフを募集するための国際交流イベントとして「Welcome to 京都学生祭典」を5月に実施しました。始めに留学生に京都学生祭典の活動意義などを知っていただくための説明会を実施しました。次に留学生と実行委員が班に分かれ、クイズ形式で京都駅周辺の観光地を巡るレクリエーションを実施しました。説明会を通して留学生に京都学生祭典について知っていただくことで、日本人との交流だけを目的とせず活動に魅力を感じて年間活動に参加していただくことができました。また19人もの留学生が参加し、実行委員と留学生の良き交流の場となりました。



目指すのは「京都から愛されるお祭り」

# 第17回京都学生祭典本祭

2019年10月13日(日) 平安神宮前・岡崎プロムナード一帯

総来場者数 **112,000名** ※企画参加延べ数(実行委員会調べ)

## Opening P.17-18



- ・開演! 京炎 そでふれ!
- ・式典
- ・京炎みこし・和太鼓パレード
- ・着物企画パレード

## 学生の熱さをシェアする P.19-20



- ・京炎 そでふれ! コンテスト
- ・Kyoto Student Music Award
- ・夢を語れ
- ・全国おどりコンテスト
- ・学生スポットライトラボ
- ・缶バッジコンテスト

## 京都を繋ぐ存在となる P.21-22



- ・京の祭てん示場
- ・和菓子コラボ
- ・京野菜推進ブース
- ・企業PRブース
- ・大学PRブース

## 多様な人々を魅了する P.23-24



- ・ゆるスポーツ
- ・国際インフォメーション
- ・一筆どうですか? 再生紙絵葉書で。
- ・もぐもぐまんぷくグランプリ

## Grand Finale P.25-26



- ・京炎みこし
- ・倭音 -yamato-
- ・和太鼓披露
- ・Kyoto Student Music Award
- ・京炎 そでふれ! スペシャルバージョン
- ・京炎 そでふれ! 総おどり



# Opening



## Openingとは？

Openingは神宮道一帯にて京都学生祭典本祭の幕開けを飾る企画です。本年度は「開演！京炎 そでふれ！」「式典」「京の伝統とモダンパレード」の3部構成で実施しました。開演！京炎 そでふれ！では、全12のホストチームからなる総勢約1,000名のおどり手による京炎 そでふれ！スペシャルバージョンを披露し、様々な工夫を凝らした色鮮やかな衣装を身に纏い、一糸乱れぬパフォーマンスで会場を魅了しました。続いての式典では来賓の皆様からのご挨拶、第17回京都学生祭典実行委員長 山田聡司の開幕宣言により、京都学生祭典本祭が開幕しました。京の伝統とモダンパレードでは、「京都の伝統や文化」を学生の創造力で表現した、エネルギー溢れるパフォーマンスが実施されました。常日頃からご支援いただいている来賓の皆様を先頭に、同志社大学服飾サークルneuf、京都大学京都着物企画、京炎みこしと京都造形芸術大学「和太鼓 恵」による素晴らしいパフォーマンスにより、京都・日本の和を感じていただけるようなパレードとなりました。

## 演目一覧



### 開演！京炎 そでふれ！

京炎 そでふれ！とは、京都らしい曲、振り、衣装をもとに四竹を手にとって踊る京都学生祭典オリジナルの創作おどりで、今年で15年目を迎えます。全12のホストチームからなる総勢約1,000名のおどり手による勢いある演舞で、圧巻の京都学生祭典本祭の幕開けとなりました。



### 京炎みこし・和太鼓パレード

京都学生祭典の象徴である京炎みこし。和太鼓による全身を使ったダイナミックな音楽とともに、「京都の人々の安寧への願いと想い」を乗せた京炎みこしとその脇を彩る和傘パフォーマンスを披露しました。全員が息を合わせることで作り上げる圧巻のパフォーマンスをお楽しみいただきました。



### 式典

今年台風19号の影響により、鳥居下で実施することとなりました。式典は来賓の皆様からのご挨拶、第17回京都学生祭典実行委員長 山田聡司の開幕宣言に続いて、テープカット・ファンファーレにより構成され、来場者の皆様に見守られながら、京都学生祭典本祭が幕を開けました。



### 着物企画パレード

日本の伝統ある着物を現代風にリメイクする、流行りのカジュアルファッションと組み合わせるなど着物の新たな着こなし方を表現しました。学生の創造力を駆使して日本の伝統文化をこれまでとは違った方法でアレンジし、またファッションを通じて着物をはじめとする日本の伝統文化に秘められた無限の可能性を感じさせるパフォーマンスでした。



# 学生の熱さをシェアする

あふれ出る学生の熱量を  
ステージを通して来場者に伝える



## 京炎 そでふれ！コンテスト

創作おどり京炎 そでふれ！のホストチーム・準ホストチームがそれぞれオリジナル演舞で競い合いました。各チームの考える京都らしさ、練られた曲、衣装、構成で多くの来場者の心を動かし魅了するようなステージとなりました。また、昨年より設けられた大鳥居下から70mにもわたるパレードステージにおいても、来場者と近い距離で演舞を披露し、より京炎 そでふれ！の魅力、学生の魅力を感じていただけました。京都学生祭典にかけける想いを届け、ひとりひとりが輝く舞台を多くの来場者に感じてもらえるようなステージとなりました。

### コンテスト結果

- 👑【優勝】京炎 そでふれ！おどりつつ
- 【準優勝】京炎 そでふれ！京小町
- 【第3位】京炎 そでふれ！彩京前線

【受賞者コメント】  
この度、京炎 そでふれ！部門におきまして、大賞という素晴らしい賞を受賞することができ、おどりつつ一同大変嬉しく思っています！  
台風の影響にも関わらず無事祭りを開催していただいた皆様、祭典の実行に関わってくださった全ての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。  
これからも、共に京都を盛り上げていけるよう頑張っていきますので、応援のほどよろしくお願いいたします！



## その他の企画



### コンテスト結果

- |            |                |
|------------|----------------|
| フリー部門      | バンド部門          |
| 👑【優勝】ハモルヨ  | 👑【優勝】お先真っ暗     |
| 【準優勝】いろは   | 【準優勝】強炭酸ポップコーン |
| 【第3位】サウタクミ | 【第3位】播州南京錠     |

### 【受賞者コメント】

#### ハモルヨ(フリー部門)

思い返せば七夕のあるライブから始まった僕らハモルヨのKSMA。あの日、京都学生祭典の皆様に会えていなければ、あの最高の景色を見ることは無かつたと思います。台風で危ぶまれた当日、京都学生祭典が無事開催された奇跡と、出会いから優勝まで全てが繋がっているような奇跡。毎年何かかどこかで起こり奇跡が生まれる、そんな素晴らしい大会であると感じました。そんな大会に参加させていただいたことを誇りに思い、これからも一歩ずつ一歩ずつ進んでいきます。全ての関係者様に感謝を込めてありがとうございました！

#### お先真っ暗(バンド部門)

晴れ渡る青空の下、学生達がそれぞれの情熱の結晶を輝かせる京都学生祭典。少々陰気な僕らには場違いなほど爽やかな大会で、そんな中僕らを選んでいただけたことを大変嬉しく光栄に思います。これからも私達なりの表現を探し続けようと思います。本当に貴重な体験でした、ありがとうございました。

### Kyoto Student Music Award

学生を中心とした音楽コンテストを実施しました。フリー部門とバンド部門の2部門で競い合いました。



### 夢を語れ

今年の京都学生祭典のコンセプトから、学生が京都で挑戦したいことを語るコンテストを実施しました。【受賞者コメント】

### コンテスト結果

- 👑【優勝】平岡拓

京都から夢を発信する機会を与えてくださってありがとうございます。コンペ形式で夢を語らせてもらう機会が初めてだったので、自分を振り返る機会としても、すごく有意義なものになりました。でも何よりあの当日、あの空間に集まってくれた皆さんから、言葉や感情を引き出されて、新しい自分に出会えたことがとても嬉しかったです。これから、期待していただいた以上の感動を作れるよう、精進していこうと思います！是非とも応援のほど、よろしくお願致します！



### 全国おどりコンテスト

全国おどりコンテストではすべてのジャンルを対象に審査を行い、各団体魅力あふれる演舞を実施しました。

### コンテスト結果

- 👑【優勝】S.D.Cシロギツネ
- 【準優勝】INSANITY7
- 【第3位】ピンクチャイルド



### 学生スポットライトラボ

様々な活動に励む学生にスポットライトをあてたジャンルを問わないパフォーマンスをお楽しみいただきました。



### 缶バッジコンテスト

京炎 そでふれ！の12のホストチームの缶バッジを販売いたしました。毎年行列ができるほど人気ありこの缶バッジを求めて京都学生祭典本祭に足を運んでくださる方もいらっしゃいました。

### コンテスト結果

- 👑【優勝】京炎 そでふれ！志舞踊
- 【準優勝】京炎 そでふれ！京小町



# 京都を繋ぐ存在となる

京都を繋ぐ存在となり  
京都のより良い未来を目指します



## 京の祭てん示場

京都学生祭典が1年間を通して活動してきた写真(イベント、各地域のお祭り、企業交流会など)、実行委員一人ひとりの写真、本祭当日の写真を使用し、約2m×4mの大きなモザイクアートを作成しました。実行委員は各自の本祭への意気込みや来場者へのメッセージを書いたボードを持ち、撮影しました。来場者の皆様に京都学生祭典の活動や実行委員の想いを知っていただくとともに、京都学生祭典に関わってくださったこと、来場していただいたことへの感謝の気持ちをお伝えすることを目的とした企画でした。そこで、京都学生祭典の「祭典」と「展示場」をかけて、「京の祭てん示場」という企画名にしました。本祭当日の日中は写真の撮影・貼り付けを実施し、夜間には完成したモザイクアートをライトアップさせ、平安神宮の神宮道に展示しました。本企画にご協力して下さったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

## その他の企画



### 和菓子コラボレーション

「和菓子コラボ企画」では、みたらし団子で有名な店舗「ぼんだの散歩」と京都学生祭典のコラボにより、京都学生祭典にちなんだオリジナルぼんだんご5種に加え、ぼんだんごティーソーダを販売させていただきました。今回の企画により和菓子や京都の魅力を来場者に伝えることができました。



### 企業PRブース

協賛企業であるローム株式会社・株式会社GSユアサ・株式会社キャリアパワー・株式会社京進・ニチコン株式会社の5社にご出展いただきました。どのブースも子どもから大人まで多くの方々に楽しんでいただくことができ、「ともに」第17回京都学生祭典を盛り上げていただくことができました。



### 京野菜推進ブース

多くの方に京野菜を知ってもらおうべく、京野菜クイズや京水菜スムージーの無料配布を実施しました。クイズを通し知識を得て興味や関心を持っていただき、その場で味わっていただくことで、より京野菜を身近に感じていただくことができました。



### 大学PRブース

大学PRブースは、公益財団法人大学コンソーシアム京都の加盟校による教育や研究の成果をPRするために実施していただきました。当日は、産学連携等で誕生したコラボ商品等の販売や、大学の特色ある教育の体験ブースを設け、来場者に「大学のまち京都」の魅力を発信していただきました。



# 多様な人々を魅了する

どんな人にもお祭りを楽しんでいただくための企画を



## ゆるスポーツ

ゆるスポーツとは、年齢、性別、運動神経に関わらず誰もが楽しめるスポーツのことです。数ある種目の中から今回京都学生祭典では、『コツコツ点字ブロックリレー』『くつしたまいれ』そして、ゆるスポーツyouth 関西支部の皆様とコラボ開発した創作スポーツ『さわっ手巻き寿司リレー』の計3つの体験ブースを実施しました。来場者の中には親子や学生のグループで楽しむ方、子どもを抱いたまま挑戦するお父さんの姿も見られました。「点字ブロックを歩いて難しいね。白杖を持って困っている人を見かけたら声をかけてあげようね。」体験をしていただいた子どもたちにこのように呼びかけ、ひとつひとつのスポーツの背景にある想いを伝えることを大切にしました。勝ったうれしい、負けても楽しいユニークな創作スポーツ「ゆるスポーツ」。そこには体験から得る新たな学びや発見がありました。多様性に富んだこの時代、「ゆるスポーツ」という新たな取り組みから、京都学生祭典の今後に更なる可能性を感じることができました。

## その他の企画



### 国際インフォメーション

留学生と実行委員がペアとなり、外国人来場者により京都学生祭典を知っていただくための案内を実施しました。また留学生と何度も会議を行い、英語・中国語・コリア語で翻訳された多言語マップを作成・配布しました。多くの外国人来場者に周知することができ、京都学生祭典の国際化に繋げることができました。



### 一筆どうですか？再生紙絵葉書で。

牛乳パックから手作りした再生紙の絵葉書に、様々な国の「ありがとう」の文字が書かれたハンコを押していただくブースを運営しました。来場者が大切な人に感謝の気持ちを伝える手助けをするとともに、京都学生祭典と書かれた絵葉書が日本中あるいは世界中に届けたいかけとなりました。



### もぐもぐまんぷくグランプリ

当グランプリは縮小開催の影響により、当初予定していたグランプリ形式ではなく模擬店形式に変更し、出店団体様のご理解とご協力のもと、沢山の模擬店出店を実現することができました。出店団体である大学生の皆様には、京野菜と豆腐を使用した様々な料理で来場者をもてなしていただき、第17回京都学生祭典本祭をさらに盛り上げるコンテンツの1つとなりました。また、食企画では、ごみ排出量削減を目的として環境に配慮したリユース食器を使用し、同時に食べ残しゼロも目指しました。「おいしい」という視点だけでなく、環境に対する視点からも食企画を楽しんでいただけるように実行委員全員で取り組みました。





# Grand Finale

メインステージにて実施される、  
京都学生祭典を締めくくるにふさわしい魅力溢れる企画。



## Grand Finaleとは？

### 毎年恒例の京都学生祭典のメインコンテンツ

神宮道に位置する令和ステージにて実施されたGrand Finaleは期待と緊張感で溢れており、そんな中自らを表現する様は老若男女問わず見る人を惹き付ける力がありました。今年も、たくさんの学生が素晴らしいステージを作り上げました。

### 各コンテストの優勝者発表・パフォーマンス披露で盛り上がり最高潮に

優勝チームの発表を待つ瞬間は出演者の方だけでなく、会場全体を緊張感が覆い、各団体がこれまでどれほどの時間を費やし、試行錯誤を繰り返して取り組んできたのかということを感じていただく機会となりました。見事1位に輝いた団体によるパフォーマンス披露は、やはり見ている人を圧倒し心を揺さぶるものでした。

### 京都学生祭典のステージでしか見ることのできないオリジナル演舞

京炎 そでふれ！コンテストは毎年、各チームごとにテーマを掲げ、それに沿った演舞を実施します。チームのカラーは残しつつ、一方で昨年とは違ったパフォーマンスが見られるため、とても人気のあるコンテンツです。今年も全12チームが各々の努力の成果を目一杯出し切りました。

## 企画一覧



### 京炎みこし

第17回京都学生祭典のGrand Finaleに実行委員による和傘パフォーマンスと和風EDMとともに京炎みこしが出演しました。1年間の集大成となる場で、『はね』『差し上げ』『差し回し』という3つの技を披露しました。最後の技となった『はね』は、来場者の方々の手拍子とともに会場を盛りあげました。



### 和太鼓披露

これまで京都学生祭典に出演し続け、ともに盛り上げてきてくださった和太鼓 恵によるパフォーマンスを実施しました。伝統的な曲に加え、曲調を変えた現代風の新曲を初披露していただきました。学生の溢れんばかりの熱気に会場全体が包まれ、学生が紡ぐ日本の伝統ある和太鼓の迫力を間近に感じられるものとなりました。



### 京炎 そでふれ！スペシャルバージョン

京炎 そでふれ！のおどり手約1000人の中からオーディションで選ばれた54名のおどり手による京炎 そでふれ！スペシャルバージョンの演舞を披露しました。多くの方の想いを背負って舞台上に立ち、Grand Finaleを学生の勢いと熱気で包みました。



### 倭音-yamato-

倭音-yamato-は 京炎 そでふれ！のOBOGで結成された京都のよさこいチームです。過去に京都学生祭典に出演して下さった方々がゲストとして帰って来て下さいました。戻ってくる場所、ふるさととしての京都を京炎 そでふれ！を通じて感じてもらえる素晴らしい演舞でした。



### Kyoto Student Music Award

日中に実施された音楽のコンテストKyoto Student Music Awardのバンド部門・フリー部門にて優勝された団体の表彰および演奏の披露を実施しました。優勝団体だけが出来る、平安神宮を背景にした令和ステージでの演奏で多くの観客を魅了し、学生の活気に満ちたGrand Finaleの幕開けとなりました。



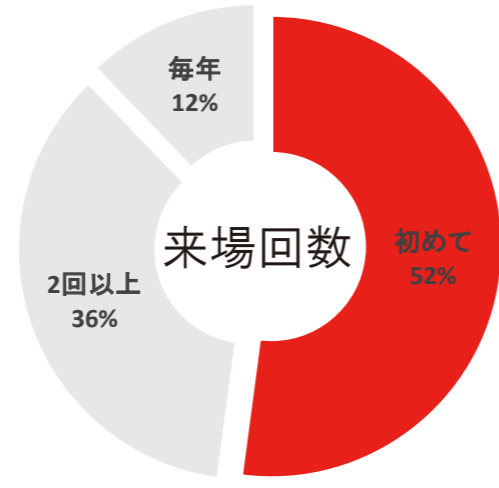
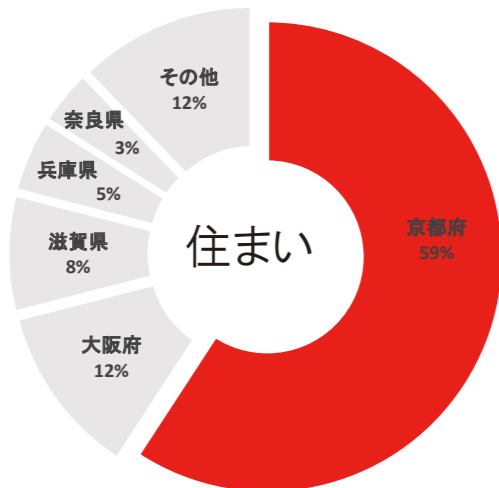
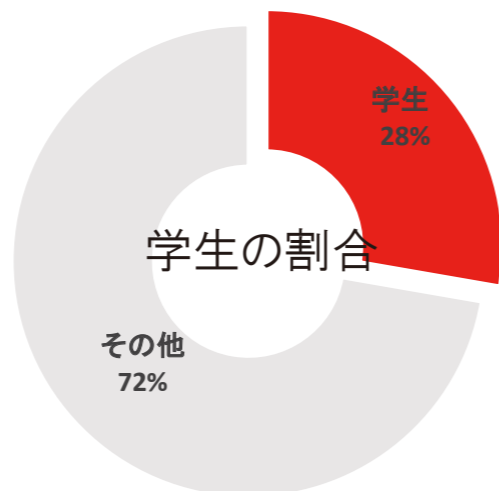
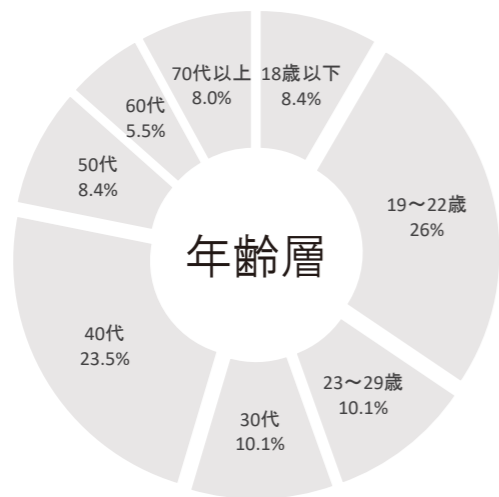
### 京炎 そでふれ！総おどり

今年は、京炎 そでふれ！のおどり手だけでなく、関係者の方々、京都学生祭典実行委員全員で踊るということを意識しました。また、演出として銀テープを使用し、第17回の終焉とこれから始まる第18回への希望を込めました。

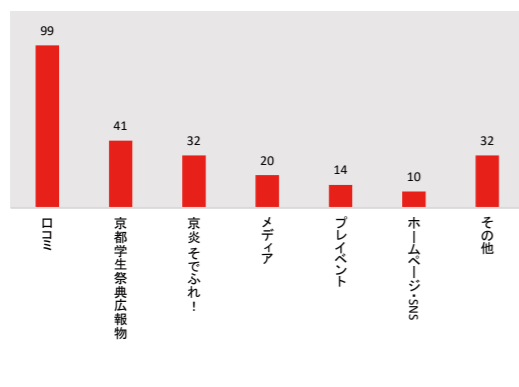


# 京都学生祭典本祭アンケート 計238名

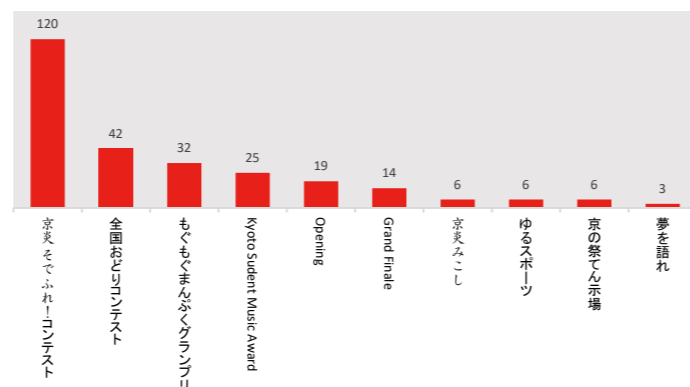
〈配布調査(QRコード読み取り式を含む)・聞き取り調査〉



## 来場のきっかけ



## 人気企画



アンケートのご協力ありがとうございました。

# メディア掲載

メディア	掲載日	掲載内容
新聞	9/29	京都新聞朝刊
	10/13	京都新聞
テレビ	7/10	J:COM 京都
	9/16	J:COM 京都
	10/10	J:COM 京都
	10/13	KBS 京都
	10/23	J:COM 京都
	11/16	J:COM 京都
	11/30	J:COM 京都
ラジオ	12/28	FM京都
	10/11	KBS京都ラジオ
フリーペーパー	9/25	京阪電車おでかけ情報誌「K PRESS 10月号」
	10月号	岡崎手帖

第17回京都学生祭典企画特集  
京都学生祭典本祭に関する記事

デイリーニュース京都  
デイリーニュース京都  
デイリーニュース京都  
KBS京都TV  
デイリーニュース京都  
J:COM京劇場

CHUMMY TRAIN  
KBS京都ラジオ  
「ネイビーズアフロの聴けばミヤコ!」

第17回京都学生祭典  
第17回京都学生祭典

# 制作物一覧

公式パンフレット	本祭告知A4チラシ	本祭告知A5チラシ	本祭告知A2ポスター
市政広報板ポスター	本祭告知うちわ	クリアファイル	本祭当日マップ
本祭当日マップ (英・中・コア、多言語版)	そでふれマップ	岡崎グラウンドエリアマップ	イベント 「#ファインダー越しの私の宮津」 チラシ・ポスター
スタッフTシャツ(赤)	スタッフTシャツ(黒)	イベント 「タナバタフェス」チラシ・ポスター	イベント 「みんなわくわく!ファミリーフェスタ」チラシ



実行委員インタビュー

京都学生祭典実行委員会は7つの部署に分かれ日々活動しています。

京都学生祭典本祭を彩る企画を立案・企画・運営を担う企画運営部。本祭やイベントで誘導・警備を行い人々の安全を守る警備部。京炎そでふれ！を通して京都学生祭典を盛り上げるおどり普及部。地域の方々や留学生との交流を通じて祭典を広める年間交流部。京都学生祭典を支えてくださる企業様へ運営費を募り連携を取る営業部。京都学生祭典をより多くの方に広めるため広報活動を行う広報部。備品の管理や人事など実行委員や京都学生祭典を内側から支える総務部。

第17回京都学生祭典を支える実行委員から代表して7人に1年間の活動を振り返り、今年の活動や第18回京都学生祭典への抱負を語っていただきました。

- 質問1 第17回京都学生祭典で頑張ったこと
質問2 第18回京都学生祭典に向けて

松田優香 (総務部)

平安女学院大学1回生



1.大好きな京都学生祭典を少しでも支えられるように一つ一つに全力で取り組んだことです。最初に総務部に入ったときは、期待と不安でいっぱいでしたが、今では自分にとってなくてはならない場所です。

2.さまざまな行事にたくさん参加してきて得た知識や体験を活かして、さらに素晴らしい最高の京都学生祭典にしたいと思えます。初めての後輩にも心地よい場所だと思っていただけるような温かい京都学生祭典と総務部をつかっていきたいと思えます。

越野泰介 (企画運営部)

京都産業大学1回生



1.僕は企画運営部の学生パフォーマンス企画を担当していました。どうすれば出演者の皆さんが気持ちよくパフォーマンスできるかを常に考えて活動してきました。本祭後に出演者のみなさんから「ありがとうございました！」という言葉もらった時、京都学生祭典で活動できてよかったと思えました。

2.第18回では、企画運営部で活動してきた経験を生かして広報活動を積極的に行っていきたいと思えます。どうすればたくさんの方に来場していただけるかを常に考えていこうと思えます。

黒田柚香 (警備部)

平安女学院大学1回生



1.年間を通して、夜間警備、イベントなどのたくさんの方が関わるイベントに参加することで、地域の方や実行委員同士の関わりの大切さや楽しさに気付くことができました。また、ボランティアスタッフとして他の祭りに参加し、どのようにして警備を行っているか実際に体験し本祭に活かすことができました。

2.警備部は本祭当日までの期間で他の部署との連携が少ないところを改善できるのではないかと考えています。そのため、本祭だけに重きを置くのではなく、本祭までの過程を大事に過ごす第18回にしたいと思えます。

中田峻輔 (営業部)

立命館大学2回生



1.僕は営業部に所属し、企業交流部門と個人サポーター部門で活動しました。企業交流部門では、企業交流会を開催しました。交流からさまざまなお話を企業の方から伺えたことが、貴重な機会となりました。個人サポーター部門では約500名の方に支えられました。個人サポーターを募集するなかで、「学生の力に期待しています」という言葉をいただき、本祭を成功させるという気持ちが強くなりました。

2.今年よりさらに多くの企業にアプローチをかけ協賛していただけるように頑張りたいと思えます。そのために、積極的に活動していき、京都学生祭典についてまだまだ知らないことがあるので、積極的に活動していきたいです。

秋山蒼 (広報部)

福知山公立大学1回生



1.私は広報部のメディア部門に所属し、京都学生祭典に関する情報を外部の方々に向けて発信しました。僕はプレスリリースを作成し、京都学生祭典のイベントを多くの人に知ってもらえるよう活動してきました。本祭では、取材にお越しいただいた記者の方々への対応が、満足度のいい記事が出来なかったのが悔しかったので、来年の課題として頑張っていきます。

2.私は1年目の実行委員でまだまだ知らないことがたくさんありました。京都学生祭典を広報する立場として、自発的に祭典に関わり、必要となるコミュニケーション能力や文章能力を高めていきたいと思えます。

竹内詠茉 (おどり普及部)

京都女子大学2回生



1.全てのおどり手に、第17回京都学生祭典おどり普及部のコンセプトである「そでふれて17」を感じていただきたい一心で日々、活動してきました。京炎そでふれ！は、素晴らしい団体であることを再認識していただけたら幸いです。

2.第18回では、3年目となり部署を引っ張る立場になると思うので、私にしかできないおどり普及部にしていきたいと思っています。先輩方が作り上げた伝統を引き継ぎながら、第18回の新たな風を吹かせます。

土方誠也 (年間交流部)

京都先端科学大学2回生



1.僕は年間交流部員として、地域交流と国際交流に関わってきました。地域交流の打ち水企画では、統括として企画内容で試行錯誤しました。企画当日は天候不良で開催できませんでしたが、良い経験になりました。国際交流では、本祭までに留学生と何度も会議を行い、交流を深めました。本祭当日は留学生と海外からの来場者を案内し、一緒に本祭をつくり上げることができました。

2.京都学生祭典と関わる留学生をたくさん集め、率先して交流を深めていきます。また、京都学生祭典をもっと海外の方に知っていただけるように取り組んでいきたいと考えています。

実行委員名簿 (248名)

Table listing 248 members across departments: 実行委員長, 企画運営部, 警備部, おどり普及部, 広報部, 営業部, 年間交流部, 総務部, 広報部. Includes names and department roles.

所属大学一覧 (27大学)

Table listing 27 affiliated universities and their member counts: 京都女子大学 (60), 立命館大学 (31), 平安女学院大学 (25), 京都産業大学 (16), 京都先端科学大学 (13), 京都大学 (12), 同志社女子大学 (12), 京都光華女子大学 (11), 同志社大学 (11), 京都華頂大学 (10), 佛教大学 (7), 京都外国語大学 (4), 京都橘大学 (4), 京都文教大学 (4), 種智院大学 (4), 京都医療科学大学 (3), 京都ノートルダム女子大学 (3), 京都美術工芸大学 (3), 京都薬科大学 (3), 大谷大学 (2), 京都工芸繊維大学 (2), 京都府立大学 (2), 龍谷大学 (2), 京都情報大学院大学 (1), 福知山公立大学 (1), 関西外国語大学 (1), 滋賀大学 (1).